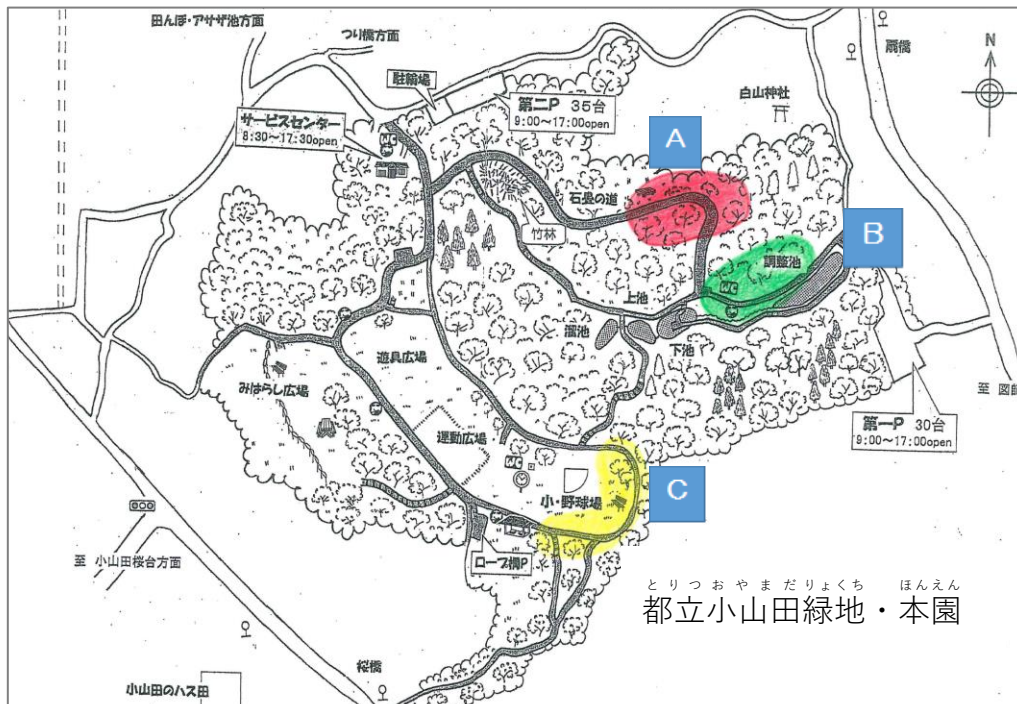


2020年 セミのぬけがら調査結果

まちだエコライフ推進会社では今年も都立小山田緑地でセミのぬけがら調査をおこないました。緑地内の本園でこの夏3回の調査をおこない、集めたぬけがらの数は合計497個でした。2019年の調査で集めたぬけがらは842個でしたから、見つかったぬけがらが前年に比べて40%と、大幅に減少したということになります。

調査地について

都立小山田緑地は、町田市北西部の自然の豊かな丘陵地にあり、本園と三つの分園からなっています。セミのぬけがら調査は本園（下図）のABCの調査地でおこないました。



調査地A

昔からの里山で、一部クヌギなどの植栽がある。地面はほぼ一面下草に覆われているが、日当たりが良く、明るい場所。

調査地B

昔からの里山で、近くに池があり、全体的に湿気が多く、薄暗い。下草で覆われた部分と、地面が露出した部分がある。露出している地面は固く、コケが生えているところもある。

調査地C

昔からの里山と整備された植栽が両方ある場所。ほぼ一面下草や落ち葉に覆われているが、草が短く刈られているところと、膝丈くらいになっているところがある。



調査地 A



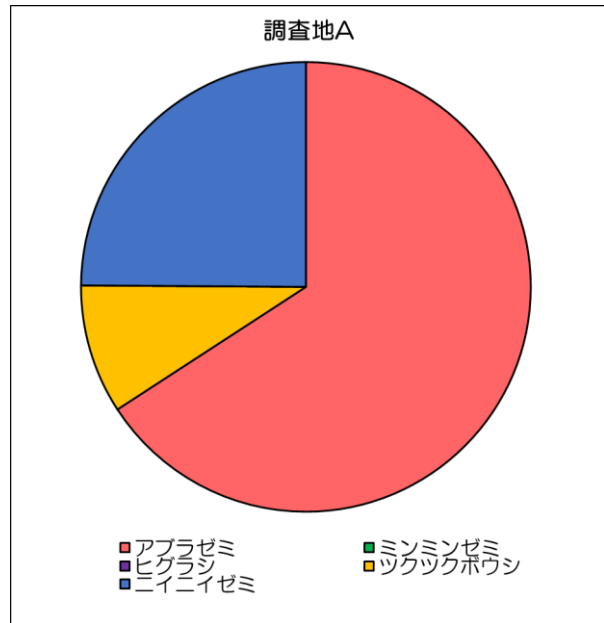
調査地 B



調査地 C

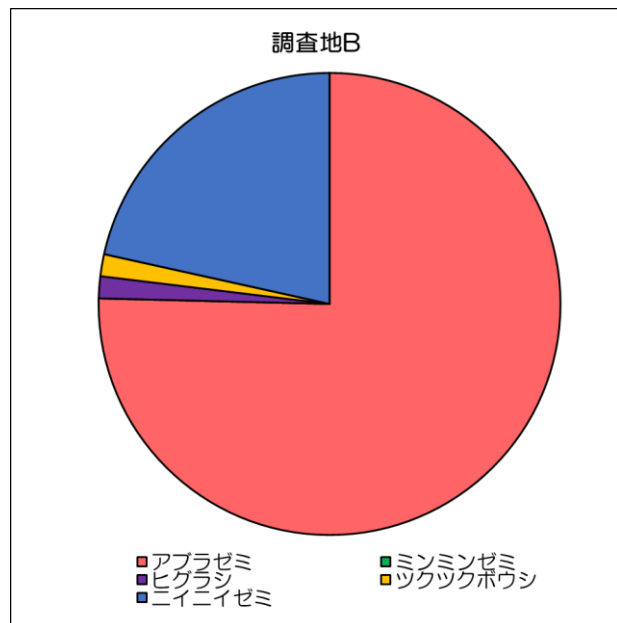
ちょうさち けっか
調査地Aの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月22日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス		56	42	98
アブラゼミ	メス		15	43	58
アブラゼミ	けい 計		71	85	156
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス				0
ヒグラシ	けい 計				0
ツクツクボウシ	オス			17	17
ツクツクボウシ	メス			5	5
ツクツクボウシ	けい 計			22	22
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニイゼミ	けい 計	19	23	17	59
	ごうけい 合計	19	94	124	237



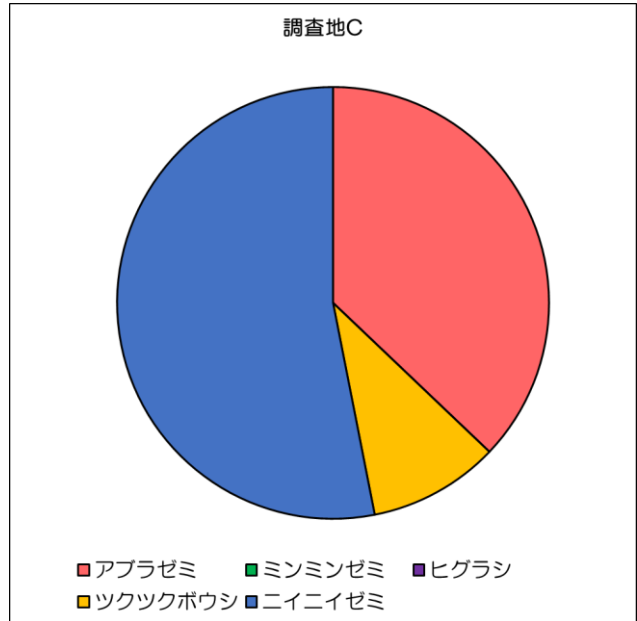
ちょうさち けっか
調査地Bの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月22日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	1	16	13	30
アブラゼミ	メス		5	14	19
アブラゼミ	けい 計	1	21	27	49
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス	1			1
ヒグラシ	メス				0
ヒグラシ	けい 計	1			1
ツクツクボウシ	オス				0
ツクツクボウシ	メス			1	1
ツクツクボウシ	けい 計			1	1
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニイゼミ	けい 計	8	6	1	15
	ごうけい 合計	10	27	29	66



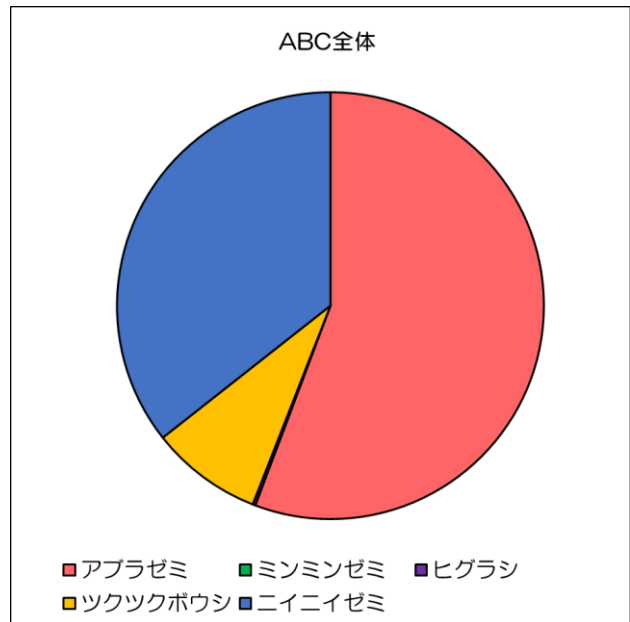
ちょうさち けっか
調査地Cの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月22日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス		17	17	34
アブラゼミ	メス		6	32	38
アブラゼミ	けい 計		23	49	72
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス				0
ヒグラシ	けい 計				0
ツクツクボウシ	オス			8	8
ツクツクボウシ	メス			11	11
ツクツクボウシ	けい 計			19	19
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニゼミ	けい 計	65	32	6	103
	ごうけい 合計	65	55	74	194

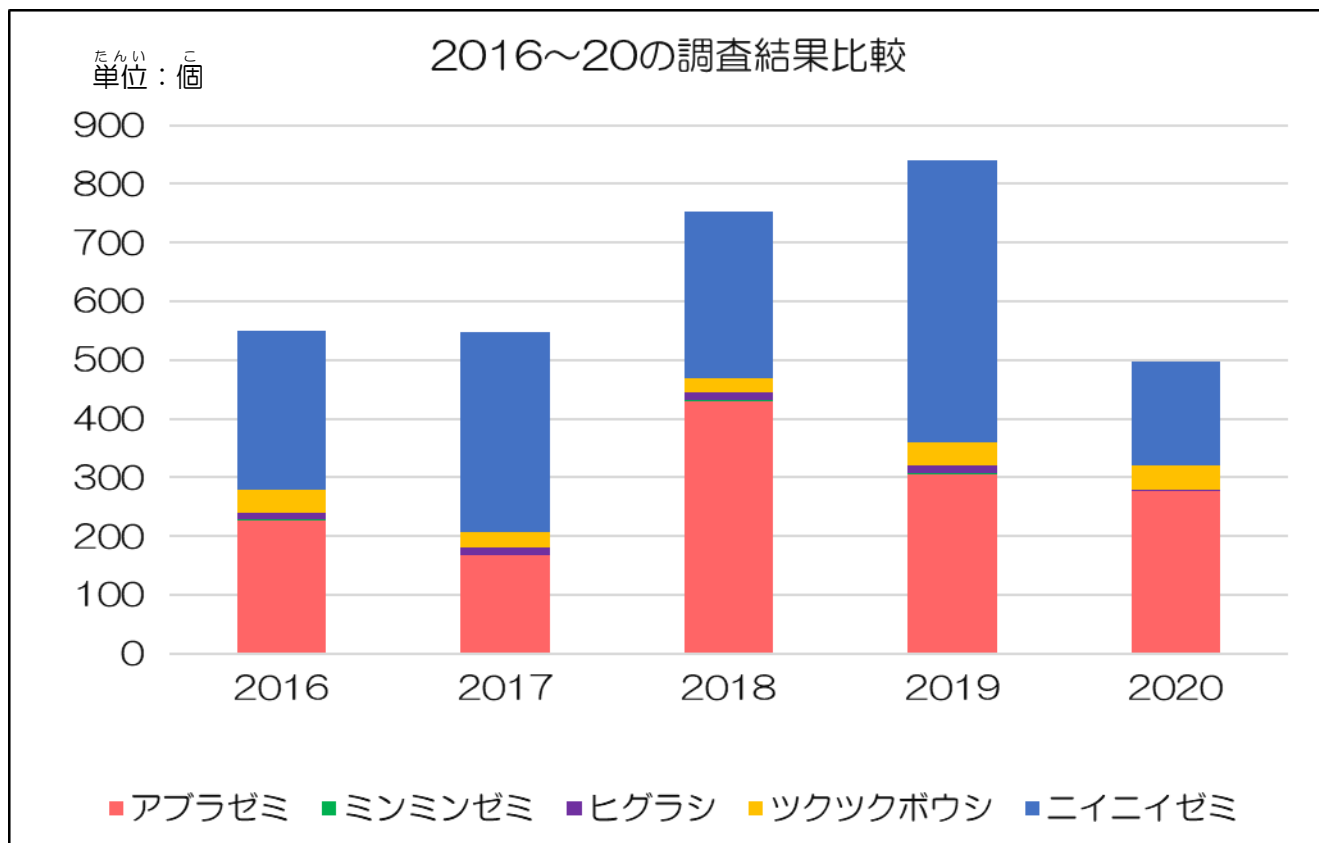


ぜんたい けっか
全体の結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月22日	8月11日	8月25日	けい 計
アブラゼミ	オス	1	89	72	162
アブラゼミ	メス		26	89	115
アブラゼミ	けい 計	1	115	161	277
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス	1			1
ヒグラシ	メス				0
ヒグラシ	けい 計	1			1
ツクツクボウシ	オス			25	25
ツクツクボウシ	メス			17	17
ツクツクボウシ	けい 計			42	42
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニゼミ	けい 計	92	61	24	177
	ごうけい 合計	94	176	227	497



2016年～2020年の比較



- 2020年の調査ではこの5年間で最も少ない、497個のぬけがらが見つかった。中でもニイニイゼミのぬけがらがこれまでで最も少なく、2019年との比較でも481個→177個と半分以下に減った。また、ヒグラシのぬけがらは、例年12、3個程度見つかったが、2020は1個しか見つからなかった。
- 2020年は梅雨明けが遅く、7月は記録的な長雨となったため、雨に流されたぬけがらもあったと推測される。また、雨のため羽化ができなかった個体もあったかもしれない。特に、7月に多く羽化するニイニイゼミとヒグラシで天候の影響が大きかったのではないかと考えられる。
- 2016年～2019年までの4年間は、1回目⇒2回目⇒3回目とぬけがらの数が少なくなっていた。これに対し、2020年は1回目⇒2回目⇒3回目とぬけがらの数が多くなった。
- 2016年～現在までクマゼミのぬけがらは見つかっておらず、鳴き声も確認されていない。
- ミンミンゼミの声はABCすべての調査地で確認しているが、2020年はぬけがらが見つからなかった。

ちょうさとうじつ ようす き
調査当日の様子。気がついたこと。

1回目 (2020年7月22日 午前)

- A 木の幹についているぬけがらがほとんどなく、地面に落ちて木の葉や泥に埋もれているものも多かった。鳴き声はニイニゼミのみ。
- B アブラゼミ一頭の鳴き声がかすかに聞こえた。調査範囲ではないが、BからCに移動する通路でヒグラシのぬけがらを1個見つけた。
- C 木よりも草についているぬけがらが多い印象。

2回目 (2020年8月11日 午前)

- A 木の幹や、葉の高いところにアブラゼミが多く見えた。(とれないところ) 鳴き声はニイニゼミがほとんど。ヒグラシの成虫を3頭確認。鳴き声はなし。ツクツクボウシは鳴き声のみ確認。
- B ニイニゼミの鳴き声がほとんど。例年ヒグラシのぬけがらがある辺りを確認したが、見つからなかった。地面はあまり湿っていない。ニイニゼミのぬけがらは地面に落ちているのが多く、アブラゼミは草で羽化したものが多かった。
- C ツクツクボウシ、ニイニゼミの声がよく聞こえる。アブラゼミの声は少ない。草についたアブラゼミのぬけがらが多い。

3回目 (2020年8月25日 午前)

- A ツクツクボウシが木の幹や葉っぱなど高いところに多い。アブラゼミは木の葉についているものが多い。ニイニゼミは地面に落ちているのが少しだけ。
- B 地面の出ているところは乾いている。トイレの側、コナラの植栽のまわりではほとんど見つけられず。全体的に少ない。
- C ツクツクボウシの声がよく聞こえる。アブラゼミ、ミンミンゼミの声もあるが、少ない。あすまや近くはぬけがらが少なかった。アブラゼミは木の葉、草に多かった。